

# エムエム通信

三鷹地域支部ニュース

2号

2023年1月30日発行

明治大学校友会

三鷹地域支部

発行人 高玉茂男

編集人 大胡修

会員数 61名

(2023年1月現在)

活動の再開を願がって

支部長 高玉茂男

新年明けまして

おめでとーごいします。

今年も平和でありますと共に、皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。

コロナ禍のこの3年間、様々なことが中止・自粛で、思った通りの活動が出来ず、会員の皆様には、歯がゆく思われていたことと存じます。

さて、私が支部長に拝命されましたのが2016年で、早いもので了年目になります。前支部長の山崎氏より、無理矢理押し付けられ

た感じでした。ただ、私は三鷹口一タリークラブの会長経験もあり、お役に立つならと引受させていただきました。

支部長になってます取り組んだことは、会員を増やすことでした。私の仕事上の付き合いがあった金融機関の支店長や、同業者の方々に勧誘し、入会をお願いしました。また、明治大学から卒業生の三鷹市在住者名簿を貰い、100軒ぐらい電話をかけ、5人に入会してもらえました。現在、役員として尽力されている会員もその代表です。

次に取り組んだのは、できるだけイベントを多くして、総会を始め、新年会や春秋の歴史散策、食事、飲み



初詣(井の頭弁財天) 令和五年

会ピンゴなど、顔合わせ交流を楽しむ機会をつくることでした。

こうした企画には、散策コースや食事処の選定、会計等に役員協力があがり、多くの出席参加者で盛り上がりました。

しかし、本当に残念なのは、コロナ感染拡大の状況下で、総てが中止せざる得なくなったことです。昨年からは、少しずつ禁止事項が解除になりつつあり、今年は役員の皆さまに諮って、イベントを再開したいと考えております。

本年も宜しく

お願い申し上げます。

## うさぎの話

あれこれ



大胡修昭49院

今年癸卯。「癸」と「卯」の組み合わせには、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するという意味があるようだ。

今年の主役、うさぎには「因幡の白うさぎ」「ウサギとカメ」「二兎を追うもの一兎も得ず」など、私たちにも馴染み深い物語、諺がたくさんある。

「うさぎの登り坂もそのひとつで、うさぎは前足が短くて坂を登るのが巧みであることから、転じて地の利を得て得意の力を発揮することのたとえに使われる。虎の威を借りたコロ

ナが暴れまわった昨年を思いつけ、卯年の本年に希望の灯りを感じたい。卯生まれには、きれいな好きで几帳面、整理整頓も得意で丁寧な仕事を

こなす人が多いという。以前読んだ『慶応三年生まれ七人の旋毛曲り』

(坪内祐三)に登場する夏目漱石、幸田露伴、尾崎紅葉、正岡子規、佐藤緑雨、宮武外骨(ジャーナリスト)、南方熊楠(民俗学者)は明治期を代表する蒼々たる人物にして、しかも全員がうさぎ年。だれもがきれいな好きであったかはともかく、可愛いウサギとのギャップに思わず笑ってしまうのは失礼であろうか。

旋毛曲りのひとり、正岡子規につきのような句がある。

「明月や山かけのぼる白うさぎ」

いままきに山から仲秋の満月が顔を出して昇ってきた。月のうさぎが山を駆け上るような勢いで、月が登っていく。ここにも「うさぎの登り坂」がある。

ウサギ話をもう一題。

浦和に調つき神社という珍しい神社がある。祭神は天照大御神。2000年前の創建と伝えられ、後に足利尊氏が荒廃した社殿を再建したともいわれる。土地の人は親しみを込めて「つきのみや」と呼んでいる。鳥居のない神社、狛犬ではなく兎が置かれている。調つきという社名が、月と同じ読みであることから、月の動物とされ、神の使いとされるうさぎが社殿の彫物や絵馬など、いたるところにみることが出来る。

可愛らしいうさぎが、コロナを追い払えるか心もとないが、調神社に詣でて、本年が良き一年となることを祈願し、新年の暮明けとした。

私の休日の過ごし方

今浦 啓平(19法)

私の休日は主に土日です。

土曜は早朝4時に起床し、5時には出発します。移動手段はいつもの愛車。駆け抜ける歓びを味わいつつ、まだ往來の少ない一般道、朝日が眩しい高速道路をドライブします。高速道路を下りて、少し遅めの朝食。地元で有名なラーメン店で朝ラ1です。いつもながら、とても美味しい。

お腹も膨れたところで、ドライブを再開。車内で妻との会話も弾みます。だんだんと山道に入っていきます。こんな山道 wait していた！コーナーを曲がる度に歓びを感じます(もちろん法定速度内)。

目的地は、10室しかない秘境の温泉宿。いつも、鼻肩にありがとうさぎいます。「と馴染みの女将に案内され、心地よい疲れとともに、宿自慢の源泉かけ流しの温泉へ。そして待ちに待った美味しい夕飯を、銘酒とともに頂きます。妻もご機嫌です。

翌日はゆっくりと起床し、おいしい朝食を頂いて温泉につかり、地元観光名所を巡って帰宅。



「ああ、良い休日だった。明日からまた頑張ろう。」と充

実感とともに眠りにつきます……。……という休日を夢見ながら、4歳と2歳の子どもを相手に、妻とともにクタクタになる休日を過ごしています。

# 秋の散策会

多磨霊園著名人歴史散歩

林信雄 昭47商

小春日和に恵まれた11月12日(土)恒例の秋の散策会が、趣向を変えて『多磨霊園著名人墓参りツアー』と題して開催しました。案内役を務める小生が事前に、墓地管理事務所で購入した園内地図を参考に、独断と偏見で20ヶ所ピックアップし当日に臨みました。墓地公園正門から入場しましたが、あまりにも広く、最初の1時間では5ヶ所しか回れず、相手を端折り、最後に明大野球部グラウンドが見えるかと、浅間山公園を登りましたが、樹木越に「声はずれども姿は見えず」、言う言うの体で引き返しました。散策会終了後高玉支部長が予約された店での少酌懇談に話が弾みました(参加者9名)。

## 異色の散策会

見玉敏昭 昭43法

今日は三鷹地域支部主催の秋の散



策会である。私は近年の支部が行う散策会には常に参加しているが、今回は異色の墓参りである。車の運転免許の更新に来るたびに、そばを通るが中に入ったことはなかった。どんなところだろうとワクワクしながら園内に入っていた。

ここは府中市にある多磨霊園である。明治時代からの有名人が眠っている所だ。入口に立って驚いた。緑に囲まれた広い道路で整然と区画された墓地がずっと奥まで広がっている。案内役の林さんが分かりやすいパンフレットを準備し、年寄りでも回れるコースを設定してくれていた。いくつかの墓を見て回った最後に、浅間山公園という小高い所に昇るといふ。その頂上から明大野球部の練習場が見えるらしい。私はすでに足が棒のようになって登ることはできなかつたので、下で待機していた。残念。今回も楽しく歩かせてもらった。次回の企画が楽しみだ。 見玉敏昭

## スパイゾルゲ

齋藤伸和(平10法)

多磨霊園は、10年以上前に友人と車で桜を見に行つて以来の訪問でした。今回の散策は、霊園内に眠る作家政治家、芸能人などの歴史散歩で、楽しい発見が多くありました。なかでも、スパイ、ゾルゲの墓は、大変興味深いものでした。終戦間際、日ソ不可侵条約を一方的に破つて北方から攻めて、国後島など我が国の領土を奪つたソ連、そのスパイが平和のために活動し、平和を愛することを信条としているなどと言つのは、プーチン

大統領が「平和のため」にウクライナに侵攻していると公言するのに似ていて、ロシアの政治家の何とも言えないブツツクさを感じ、とても興味深かったです。でも、スパイ、ゾルゲはある意味、本当に平和を追求していたのかもとも思います。

当時のロシアは、貧しく、資本家が労働者階級、農民を搾取していた時代(社会民主、社会福祉という言葉も、ない時代)でした。ゾルゲの生きた時代は、マルクスレーニン主義のもと、労働者(プロレタリアート)のための共産主義、ソ連邦という労働者の楽園(ロシア流の言い方で)が建国されたばかりで、共産主義者、ゾルゲは、ソ連邦という国が繁栄すること、世界中に共産主義革命が起き、その革



ゾルゲの墓所

命によって資本家に搾取されることがない世界各国の労働者、農民が、真に平等で豊かで平和に生活を享受できるようにすると本心に信じてスパイ活動していたのではないか、などと考へてしまいました。

## 会員近況

★体、足は至って元気です。丁度この日は家内と旅行に出かけて帰つてくる日に当たります。残念ですが欠席となります。(安藤)

★恒例の母の介護が大変になってきました。しばらくは自分の楽しみはお預けかなと思つています。(松田)

★いつも連絡いただきありがとうございます。まだ子供が小さくなかなか参加できていたことができません。申しわけありません(大倉)

★案内ありがとうございます。多磨霊園はとても魅力的な場所です。行つてみたいのですが、残念ながら今回は欠席させていただきます。年々歩くのが難しいと感じる様になってきました(吉田君)

★いつもお世話になります。多磨霊園は僕の散歩道でほぼ毎日行つております。沢山の有名人が眠っております。当日は所用がありご無礼します(中島)。

★ある会社より勤めて欲しいとの依頼があり、週2日、月8日出勤しています。健康面からももうしばらく勤めようと思つています。なかなか参加できず心苦しく思つています。申し訳ありません(常松)。

★支部長の高玉様より紹介いただき入会させていただきました。西武信用金庫三鷹支店の島沢です。よろしくお願ひします。さて、小生、園分等居住しており、現地には直接伺います。よろしくお願ひします(島沢)。

◆◆◆

秋の散策会のお知らせにいただいた返信ハガキより一部抜粋しました。

## 支部ニュース



春の散策会のお知らせ

開催日 4月15日(土)

柴又帝釈天 大泉

※詳細は後日、案内します

## ハナカイドウ 編集後記

エムエム通信り号をお届けします。

正月気分もとうに過ぎ、鬼の足音が聞こえてくる時期となりました。

昨秋の「多磨霊園 著名人歴史散歩」では意外な人物の墓所を発見したり、楽しい時間を過ごしました。今春は「ふうてんの寅さん」の世界を散策します。徐々にですが、支部活動も再開していきます。

卯年の会員もおられると思えます。飛躍の年、夢のある年といわれる卯の年となるよう、心から願ひたいものです。

編集子

## 外は内 福は内

